

助成年度：平成 29 年度

[所属] 同志社大学 社会学部

[役職] 嘱託講師

[氏名] 小松原 織香

[課題]

水俣病患者のコミュニティの〈修復〉と〈再生〉についての応用哲学的研究

[内容]

本研究の中心的な問いは、災厄によって傷ついた人間が「どうやって加害者に向き合い、再びコミュニティへの信頼を取り戻すのか？」である。研究テーマである「水俣病問題」では、水俣地域の人々は公害で健康被害を受けたのに加えて、地域の間関係の分断や自然環境破壊などのダメージを受け、コミュニティを根こそぎ破壊された。その水俣地域の人々は、1970年代からコミュニティ再生に向けて〈修復の思想〉を基盤にした取り組みを行ってきたことを、本研究では明らかにする。

2017年10月より研究を開始し、2018年9月までに学会報告を3回、論文投稿を1回行った。東京や熊本、滋賀、名古屋など国内の各地でフィールドワークを行い、情報を収集した。それらの資料分析が完了した部分から、順次成果を報告している。また、非公開の定期研究会を開催し、報告集を作成した。さらに、海外での調査報告・資料収集を行い、国際的な研究を展開することができた。